

短期対策一覧表

資料1-2

NO	優先度	管理者	主要渋滞箇所名	所在市区町村	速度低下の要因	渋滞対策の方針
1	1	国交省	一ツ谷	韮崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(下り)では右折車の集中による捌け残りが原因で渋滞が発生。国道141号(上り)では一時的な車両の集中により渋滞が発生。 ・交差点への交通集中、右折車の影響が速度低下、渋滞の原因。 	交差点に集中する交通、右折車を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・適切に右折車両を誘導し、右折滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・国道20号における右折車の影響を低減させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ・国道20号(下り)の交差点改良等の対策に取り組む検討が必要。 ※ 右折レーンの延伸は幅員不足のため困難
2		国交省	国母	甲府市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(下り)では国母立体交差点付近まで連続する渋滞、県道3号甲府市川三郷線でも5割程度の車両が低速走行で渋滞が発生。 ・交差点への大量の交通が集中することが速度低下、渋滞の原因。 	大量に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・適切に右折車両を誘導し、右折滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ・右折導流標示の設置
3		国交省	船山橋北詰	韮崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(下り)では、隣接する交差点付近まで連続する渋滞が発生、直進車両により右折が阻害され右折車線も混雑。 ・県道42号韮崎南アルプス富士川線では、2割程度の車両が右折レーンを越えて低速走行、右折車両滞留による渋滞も発生。 ・交差点への大量の交通集中、右折車両の影響が速度低下、渋滞の原因。 	大量に集中する直進、右折交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 ・船山橋における右折車の影響を低減させる対策 ・国道20号の右折車線の混雑を緩和させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ・船山橋の右折レーンの延伸 ・国道20号の右折現示の変更
4	2	県	(仮称)小笠原	南アルプス市	<ul style="list-style-type: none"> ・県道42号韮崎南アルプス富士川線、県道12号韮崎南アルプス中央線では交差点流入部で低速走行が発生。 ・交差点への交通が集中が速度低下、渋滞の原因。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し
5		国交省	十五所	南アルプス市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道52号では、右折レーン終了後も約4割程度の車両が低速走行。 ・県道5号甲府南アルプス線(下り)では、隣接交差点を越えて低速走行が連続。 ・直進、右折交通の集中が速度低下の原因。 	大量に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 ・国道52号における右折車の影響を低減させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ・右折レーンの延伸(国道52号)
6		県	本町	韮崎市	<ul style="list-style-type: none"> ・県道6号甲府韮崎線(下り)は、本町第二交差点を越えて低速走行が連続。 ・県道27号韮崎昇仙峡線は、3割程度が低速走行。 ・直進、右折交通の集中が速度低下の原因。 	交差点に集中する直進、右折交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 ・甲府韮崎線(下り)における右折車対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ・甲府韮崎線(下り)の右折車削減、交差点改良等の対策に取り組む検討が必要 ※ 右折レーン延伸は、2車線道路で、近くに隣接交差点もあり困難
7		国交省	新町	上野原市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(上り)では新町～新町二丁目交差点まで連続する渋滞が発生。 また、県道四日市場上野原線(上り)では、流入部で4割～6割前後もの車両が低速走行。 ・相模湖方面での先詰まりが速度低下、渋滞の主な原因であるが、沿道出入車両や大型車の影響も原因の一つ。 	相模湖方面での先詰まりを解消することが必要であるが、大型車等に対応した交差点処理能力の向上も必要。 しかし、2交差点とも2車線道路同士の交差であり、現道で交差点処理能力の向上を図る右折レーン設置や停止線の前出し等のピンポイント対策の実施は困難。 また、現状(H26)の交差点需要率は0.9以下であり、信号現示に問題はないと判断される。 【検討対策メニュー】 ・相模湖方面での先詰まり箇所を特定し、先詰まりの解消に取り組む検討が必要。 ・用地買収により、交差点改良等の対策に取り組む検討が必要。
8		国交省	上野原高校入口	上野原市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(下り)、県道506号新田松留線(下り)では、右折レーンを越えて低速走行が発生。 ・国道20号では、右折レーンの終了後に低速走行が増加しており、右折車の影響も渋滞の原因。 	右折車両の処理とともに、交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・国道20号(下り)、県道506号新田松留線(下り)における右折車の影響を低減させる対策 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・右折レーンの延伸 ・停止線の前出し ※停止線の前出しは、既に実施済みの交差点と思われる効果は小さい
9	国交省	(仮称)上野原1	上野原市	<ul style="list-style-type: none"> ・上野原市役所前、(仮称)上野原1交差点では、流入部において低速走行が発生。 ・交差点への交通が集中することが速度低下の原因。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・上野原市役所前交差点: 停止線の前出し ・(仮称)上野原1交差点: 停止線前だしは困難。用地買収による交差点改良等の対策に取り組む検討が必要	
10	国交省	新町二丁目	上野原市	<ul style="list-style-type: none"> ※7.新町と同じ ・国道20号(上り)では新町～新町二丁目交差点まで連続する渋滞が発生。 また、県道四日市場上野原線(上り)では、流入部で4割～6割前後もの車両が低速走行。 ・相模湖方面での先詰まりが速度低下、渋滞の主な原因であるが、沿道出入車両や大型車の影響も原因の一つ。 	※7.新町と同じ 相模湖方面での先詰まりを解消することが必要であるが、大型車等に対応した交差点処理能力の向上も必要。 しかし、2交差点とも2車線道路同士の交差であり、現道で交差点処理能力の向上を図る右折レーン設置や停止線の前出し等のピンポイント対策の実施は困難。 また、現状(H26)の交差点需要率は0.9以下であり、信号現示に問題はないと判断される。 【検討対策メニュー】 ・相模湖方面での先詰まり箇所を特定し、先詰まりの解消に取り組む検討が必要。 ・用地買収により、交差点改良等の対策に取り組む検討が必要。	
11	国交省	柏尾	甲州市	<ul style="list-style-type: none"> ・県道38号塩山勝沼線(下り)では、右折レーンを越える渋滞が発生。 ・交差点への交通が集中することが速度低下、渋滞の原因。 	交差点に集中する右左折車を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 ・信号待ち車両の末尾を短くし、発進の遅れ車両へ追いつく車両を減少させる対策 ・塩山勝沼線(下り)における右折車の影響を低減させる対策 【渋滞対策案のイメージ】 ・停止線の前出し ※停止線は、既に前に出されている状況であり効果は小さい ・用地買収による右折レーンの延伸に取り組む検討が必要	

NO	優先度	管理者	主要渋滞箇所名	所在市区町村	速度低下の要因	渋滞対策の方針
12	3	国交省	向町二	甲府市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道20号(下り)では、交差点流入部で速度低下が発生している。 ・国道140号(下り)は、三叉路で右左折となることもあり、速度低下が発生している。 ・ピーク時において、向町二交差点の下り線の右折車両が多く直進交通を阻害し、速度低下。 	直進車両の交通阻害要因である右折車両の処理が必要。 【検討対策メニュー】 ・国道20号の右折車対策 ・適切に右折車両を誘導し、右折滞留車両捌け台数を増加させる対策 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・右折レーン延伸 ・右折導流標示の設置 ・停止線の前出し
13		国交省	貢川2丁目	甲府市	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時において、貢川2丁目交差点の上り線の右折車両が多く直進交通を阻害し、速度低下(時差式信号)。 ・交差点付近の道路線形がカーブしていることもあるが、速度低下が発生している。 	交差点の交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・停止線の前出し ・信号現示の調整(時差式信号)
14	4	国交省	本栖	富士河口湖町	<ul style="list-style-type: none"> ・国道300号流入路がカーブのついた上り坂で、かつ感應式信号であることが渋滞の要因と考えられる。(国道139号は時差式信号) 	右折車両を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・適切に右折・左折車両を誘導し、右左折滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・右折レーン延伸(現地確認が必要) ・信号現示の調整(感應式サイクルの見直し)
15		国交省	六科	南アルプス市	<ul style="list-style-type: none"> ・県道20号下り・上りはそれぞれ朝時間帯・夕方時間帯に流入部で速度低下が発生している。 ・交通が集中することが渋滞要因と考えられる。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・停止線の前出し
16		国交省	富士見バイパス北	富士吉田市	<ul style="list-style-type: none"> ・国道139号現道の下り線は平日の夕方時間帯に速度低下が発生している。 ・当該道路は、上り坂であることや交通が集中することが渋滞要因と考えられる。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・適切に右折車両を誘導し、右折滞留車両捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・右折レーン延伸 ・右折導流標示の設置
17		国交省	山中湖西	山中湖村	<ul style="list-style-type: none"> ・国道138号下り線では、休日の昼間時間帯から夕方時間帯まで速度低下が発生している。 ・当該道路は山中湖へのアクセス道路であり、観光需要による交通集中が渋滞要因と考えられる。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・停止線の前出し ・交通案内誘導(国道138号から田路線への誘導)
18		国交省	大田和	鳴沢村	<ul style="list-style-type: none"> ・国道139号の休日の上り線において流入部で速度低下が発生している。 ・観光需要による交通集中が渋滞要因と考えられる。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・直進車両捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・直進の青信号の時間の増加
19		国交省	ひばりが丘	鳴沢村	<ul style="list-style-type: none"> ・国道139号下り線と県道71号下り線は、休日の午後の時間帯に速度低下が発生している。 ・観光需要による交通集中や、右折レーンが設置されているが容量が不足していることが、渋滞要因と考えられる。 	交差点に集中する交通を効率的に処理することが必要。 【検討対策メニュー】 ・適切に右折車両を誘導し、右折滞留車両捌け台数を増加させる対策 ・交差点をコンパクト化し、交差点滞留車両の捌け台数を増加させる対策 【渋滞対策のイメージ】 ・停止線の前出し ・右折レーン延伸 ・右折導流標示の設置